

令和6年度 第1回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和6年4月24日（水） 18:00 ～ 19:05

【場 所】 厚田保健センター 1階多目的ホール

【出席者】 12人（14人中）

役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
会 長	渡邊 教門	○	委 員	鎌田 憲一	○	委 員	立崎 寿朗	○
副会長	東 幸子	○	委 員	平賀 敏和	○	委 員	大内さつき	○
委 員	小笠原英史	○	委 員	今 光江	×	委 員	石田 靖子	×
委 員	小山 玲子	○	委 員	森田 瞳	○	委 員	角田 由希	○
委 員	河合 保郎	○	委 員	笹谷 清一	○	委 員	欠員	

厚田支所 ～ 東支所長、吉田市民福祉課長（併 厚田学校教育課長・厚田社会教育課長）
 企画課（厚田浜益担当）～ 山田主査
 地域おこし協力隊 ～ 竹林隊員
 集落支援員 ～ 八木沼支援員
 事務局（地域振興課）～ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 1名

【次 第】 1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 情報交換会（リラックスタイム）

5. 協議事項

（1）答申案「厚田地域の今後のあり方について」

（2）石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について

6. 報告事項

（1）「あつクラ子どもアンケート」について

7. その他

8. 閉会

1. 開会

(新年度のため関係職員の紹介)

2. 委嘱状交付（机上交付）

【事務局（渡部課長）】

4月の教職員人事に伴って岡山校長が転勤し、識見を有する者として委嘱している2号委員が1名欠員となっておりますが、過日開催の厚田区地域協議会委員選考会におきまして、新たに厚田学園の校長に着任されました立崎寿朗様が選任されましたので報告いたします。

なお、委嘱状につきましては、机上に配置させていただきましたのでご了承ください。では、立崎委員から自己紹介の方よろしく願いいたします。

【立崎委員】

4月1日付けで厚田学園校長として着任いたしました立崎寿朗と申します。

22年前から27年前まで望来中学校の方で勤務しておりまして、またこの厚田の地に戻って来られたことを非常に嬉しく思っております。この協議会のことは岡山校長からちょっとだけ引き継いでおりますが、詳しい内容等色々勉強させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【事務局（渡部課長）】

ありがとうございました。任期については、来年の9月末までとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、会長からご挨拶とその後の議事進行をお願いいたします。

3. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

4. 情報交換会（リラックスタイム）

平賀委員より「港朝市」について、立崎委員より「厚田学園入学式と教育活動」について、笹谷委員より「桜の開花状況」について、それぞれ情報提供を行った。

5. 協議事項

(1) 答申案「厚田地域の今後のあり方について」

【渡邊会長】

それでは、協議事項に入らせていただきます。

答申案「厚田地域の今後のあり方について」ということで、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局（近藤主査）】

資料に基づき説明。

住民アンケートについては、4月上旬に行うことで準備を進めていたが、浜益区での説明会が遅れており、足並みを揃える必要があると判断し、GW明けに調査票を郵送し、24日までに回答していただくスケジュールで進めていることを説明。

【渡邊会長】

はい、ありがとうございます。ただ今の説明にご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【 鎌田委員 】

先日、共産党の機関紙が新聞折り込みに入っていたのですが、自分の理解では、合併特例法から地方自治法に変わるために支所や地域協議会の機能は、希望があれば変わらないけれども、「区」については、どうしようもないというか、「区」は取らなきゃならないという説明だったかと思うんですが、先日入っていた機関紙では、合併特例法でそのままやっていけるので、「区」は取らなくてもいいのではないかというような内容だったと思いますが、その辺ちょっと分かりやすく説明していただければと思います。

【 事務局（渡部課長） 】

新聞折り込みの件でございますが、地域自治区の延長については、合併特例法の規定に基づきまして今まで延長をしてきた経過がございます。機関紙に書かれていることについては、そのとおりでありまして、延長することは可能です。

これまで石狩市として地域自治区を延長してきた理由といたしましては、合併特例債を有効に活用するというところでございます。この合併特例債についても枠があるわけですし、基本的にはもう使い切るような感じでございます。新しい新石狩市にスムーズな形で地域に不便なく移行するために使う特例債でしたので、それを活用しながら、インフラ整備を含めて色々なことに活用されてきております。

そういったこともありまして、合併当初は10年の期間だったんですが、大きな地震がございまして2回延長されてきています。基本的には合併特例債を活用するために延長するというところで、地域自治区も残す、地域協議会も残すとしてきた経過がございます。

石狩市の考え方としては、基本的には延長する理由がございません。しかしながら、今まで厚田区として地域自治に取り組んできたので、地域自治区が終了した後、地域のあり方をどのようにしていくか、これまで地域のことは地域でやって来ておりますので、その点に関し、市長から地域協議会へ諮問があったところでございます。

【 鎌田委員 】

合併特例債はもう使わないというより、枠がないということなんですか。

【 事務局（渡部課長） 】

そのとおりです。

【 鎌田委員 】

ありがとうございました。

【 渡邊会長 】

よろしいですかね。その他ございますでしょうか。

なければ、答申のうち、地域協議会機能と支所機能の部分については、先ほど説明のありました答申案のように進めたいと思います。なお、住所表示については、アンケートの集計結果が出てから、改めて協議を行うことにいたします。

【 鎌田委員 】

何回も申し訳ありません。諮問に対して答申するわけですが、地域の説明会において「1回だけじゃ少ない」

といった意見もあったかと思いますが、「こういう内容で答申しますよ」というのは地域に何らかの形で周知されるのでしょうか。

【事務局（渡部課長）】

何らかの形で周知が必要と考えておりますが、地域協議会での協議と並行いたしまして、厚田区自治連合会へも情報提供しておりますので、しっかりと調整しながら進めていきたいと思っております。

なお、諮問の内容につきましては、5連からも意見をいただきまして協議会へ報告させていただきたいと考えております。5連の会議が明日25日に開催されますので、その中でご意見を伺う予定でおります。

【鎌田委員】

ありがとうございます。

【渡邊会長】

ほか、ございますでしょうか。

【大内委員】

諮問の2なんです、地域協議会としては、もうこの回答で出すということなんでしょうか。

【事務局（渡部課長）】

いえ、今まさに協議事項として上げられているものですので、皆さんでご意見を出し合って付け加えるなり、削るなりしていただければと思います。

【大内委員】

自分の意見がまだまとまっていないので、今すぐにとはならないんですが、このままで決まっちゃうのかなと思ひまして。

【渡邊会長】

答申は6月ですからまだ時間がありますので、来月も協議会ありますしね、まだ最終決定ではありませんので、ゆっくり考えてご意見いただければと思います。

（2）石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について

【渡邊会長】

次に進めます。石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について事務局からご説明願います。

【事務局（近藤主査）】

地域協議会へ、任期満了に伴い石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦依頼があることを説明。前任の小山委員を引き続き推薦したく提案。

【渡邊会長】

はい、ただ今小山委員とのことで提案がありましたけれども、小山委員いかがでしょうか。

【 小山委員 】

はい、今の厚田区の現状というものを皆様にわかってもらえるようお話ししていければいいのかなと思っており
ます。微力ですけど、よろしければ出させていたいただきたいと思います。

【 渡邊会長 】

はい、地域協議会としては小山委員を推薦するということになりましたのでよろしくお願いいたします。懇話会
の中で話し合われたことを我々にも教えていただければありがたいなと思います。

6. 報告事項

(1) 「あつクラ子どもアンケート」について

【 渡邊会長 】

続いて、報告事項に進めさせていただきます。「あつクラ子どもアンケート」についてということで、説明お願
いいたします。

【 八木沼集落支援員 】

子どもに関わるアンケートの結果がまとまりましたので、本日ご報告させていただきます。

資料1 ページの上になりますが、そもそもこのアンケートをどうしてやることになったのか、目的ですが、あ
つクラ大作戦の中で皆さんとの話し合いから、「今の厚田の子どもたちの現状を知ろう」というところから、こ
のアンケートを実施させていただいております。アンケート 10 項目について、私が直接対面で保護者の皆様に
聞き取り調査という形でさせていただきました。

このアンケートの裏表紙に札幌市立大学堀田ゆりあという名前と私の名前、二人の名前を入れさせていただ
いておりますが、このアンケートの聞き取り調査と結果の冊子をまとめる際に、この堀田さんという彼女にご協力
をいただいております。堀田さんは昨年8月に厚田にインターンとして、学生が3名1ヶ月間滞在して就労して
課題解決をするという市の学生インターンプログラムがありまして、それに参加していただいたご縁からやぎゆ
きの活動にちょっと興味を持っていただきまして、また彼女も大学でデザイン学部にも所属なのですが、こういう
見た目のデザインだけではなくて、地域デザインだったり、そういった分野を勉強している学生でして、今回一
緒に協力をしていただくという流れになったというところを補足させていただきます。

資料に戻りまして、1・2 ページに関しては、今回アンケートを行った対象の家庭の子どもたちの年齢構成だ
ったり、基礎情報を載せております。子どもの年代の色分けは、一番年長の子どもの学年で色分けをさせていた
だいております。

3・4 ページ、「厚田での子育てで困っていること、望んでいることはありますか」という質問に対する回答
のページです。全体的に子どもの遊ぶ場所についての困り事だったり、要望が多かったです。特に「公園が欲し
い」という意見が一番多い8件の回答があり、特に未就学児の保護者から「遊具のある公園」の要望が多かった
ような形です。2 番目に多いのが「子どもの遊ぶ場所がない」という回答の6 件、あとは、「移動手段による遊
びや習い事への制限」に関わる回答が4 件ございました。

5 ページ、「子どもさんが部活だったり、習い事はしていますか」という質問に対しての解答ですと、兄弟で
高校生がいたりする子どもの回答も足しているので、人数が単純に73 人と増えています。

一人の子どもで何個も習い事をしているという子もいまして、そういった場合は重複してカウントしていま
す。見ていただいてわかるように、未就学児から高校生までの年代で部活だったり習い事をしていまして、スポ
ーツ関係に該当するものが、7 個21 人、勉強や音楽に関することは7 個12 人。行き先をカッコで書いてあるの
ですが、やはり厚田だけで習い事ができずに花川だったり、遠いと手稲区や西区まで通っているお子さんが結構

いるんだなというところでした。

6 ページの「部活や習い事をしている大変なこと、良いことについて何かありますか」という回答になります。習い事をするために厚田の外へ通うので、どうしても「距離があつて大変だ」という苦勞ですとか、親も「送迎の苦勞を覚悟したうえで習い事をしています」というお母さんお父さんがいました。

他にも、そうやって苦勞しながらも、習い事から得られる子どもへのいい面や変化、「厚田じゃない地域の子と関わることで、新しい子どもの交友関係が広がった」ですとか、「色んな情報を交換することができる」だったりというメリットもありますよというお話が聞けました。

7 ページ、「部活や習い事ができない理由」に関する項目です。一番多かったのが、4 件ずつの回答があつた「年齢が小さいからまだやっていません」、「遠いから習い事をしていません」、「厚田の外へ行く必要があるからやっていません」、「厚田の中でやりたいことがないからやっていません」という、この四つの項目がそれぞれ4 件ずつという回答でありました。

ここは、私の個人的な考えなのですが、例えば厚田の中の人材から感覚的ではなくとも子どもの選択肢を広げてあげることに繋いだりということができないかなと漠然と思いました。例えば、習字の得意な方に習字を習ったりをやぎゆきの企画としてやったりですとか、そういった人材の候補がいらっしゃいましたら、是非私にご連絡をいただければと思います。

9 ページ、「放課後に子どもたちは何をしてどこで誰と遊んでいるんだろう」という項目になります。遊ぶ場所がないとの声が上がる子どもたちが、どこで何をしているかという、圧倒的に「自宅で遊ぶ」という子が多かったということわかりました。また、「友人の家に行つて遊ぶ」という声もあつたのですが、その友人の家に行くのにも親の送迎が必要な場合がほとんどで、しかも毎日遊べている状況ではないということがわかりました。

遊びの内容に関しても、そういう事情からか「一人遊び」だったり、「ゲーム」が多かったです。また、これは今時だなと思ったんですが、「インターネットを利用してゲーム」を子どもたちがしているようで、オンライン上で「何時にこのゲームで集合ね」みたいなことをやって遊んでいるというお話も聞くことができました。

10 ページ、「子どもの居場所があるといいでしょうか、どうでしょうか」という質問をしました。「あるといい」と「使わないけど、あるといい」を合わせますと、約 90%が「子どもの居場所はあつた方がいい」という回答だったということがわかります。ただですね、この質問をしたときに、具体的な場所については、「厚田に子どもの居場所があるといいですか」という聞き方でしたので、厚田なのか望来なのか聚富なのか、そこまで突き詰めた聞き方をしなかったことに失敗したかなとは思っているんですけども、今後そういったところは具体的に、どこにしようかという場所の問題は、今後検討が必要なかなと思っております。

11・12 ページ、「その子どもの居場所があつたらいいなという詳細」をお聞きした項目になります。「平日を希望する方」、「土日希望する方」、「平日も土日也希望する方」というふうに、それぞれ希望が割とバラけたような形になります。一番最初の基礎情報のページに載せているのですが、60%が農家さんだったり、漁師さんの家庭という方が多いので、お仕事との兼ね合いで土日を希望していたり、農家さんだったら「冬はいいけど、とにかく夏に子どもの居場所があつた方が助かるんだ」という声が聞けたりですとか、子どもの年齢だったり、家庭の事情の数だけ希望があるんだなというような状況になりました。

12 ページ下には、「なくてもいい、使わないがあるといい」の意見もありましたのでそちらもご覧ください。

13・14 ページ、子育てに限らずでもいいので、「厚田に必要なヒト・モノ・コトに何か思うところとかありますか」という質問を最後にしてみました。「生活環境」、「買い物」とかに関することだったり、「厚田だからこそ」といったご意見をいただきました。

子どもに限らずと言っているにも関わらず、ここでもやはり「公園が欲しい」という希望が5 件あつたことだったり、「スーパーを希望する」という意見も7 件ありました。また、「イベントや交流の場を求める」意見とい

うのもありまして、「人との交流」だったり、「出会いの場」を求めているようなご希望があるのかなと感じました。

14 ページ下には、「その他、高校生の通学事情」ということで、情報を載せさせていただいております。あくまでもアンケートの対象としている幼児から中学生の子の兄弟の高校生の話なので、厚田の全高校生の話を今回聴けたわけではなかったのですが、その中でも、「通学費用に関する負担」ですとか、「家を出て高校に通わないといけない」などがあり、やはり金銭的負担の部分が話題になっていました。

13 ページの「移動手段の制限と送迎の負担」というところにもあるのですが、私、今回初めてこんなこともあるんだと聞いてびっくりしたんですけど、高校が札幌にあって、お子さんが土日って朝一番の6時半のバスがないそうなんですよね。そうすると、家庭の事情だったり行けるときは石狩の河口橋を越えた所までは送ってあげられるんだけど、どうしても送れないっていうときは、前の日、札幌のビジネスホテルに泊まりなさいと、土日の学校に行くために札幌に泊まらなきゃいけないっていうところで、金銭的負担が結構あったりっていうことを聞いて少し驚きました。

また、バスの件なんですけども、以前、私が地域交通の委員みたいなことをしていたときにも、トーメンまでは結構遅い時間まで来るバスがあるので、その辺の接続をフォローしてあげたら、厚田の子も部活ができるのではないだろうかという話をしていたことがありました。厚田まで来る帰りのバスは、花畔発 19 時 10 分のバスが最終で、それより遅いトーメンまで来るバスは花畔発 20 時半です。その間 1 時間ちょっと待つんだったら 40 分かけても厚田から親が迎えに行った方が早いという実情がわかりまして、そうするとトーメンへの接続をこちらが何かフォローしてあげてもあまり使い易くはないのかなということがわかりまして、今回すごくなるほどと思った部分でもあります。

以上でアンケートの報告は終わりになります。この報告は、4 月 10 日にあつクラ大作戦でもご報告をさせていただきました。このアンケート結果を皆さんに共有した上で話題になったのが、「公園がやはり必要というか、ニーズとしてはあるのだろうか」というところだったり、「思っていたよりも、子どもがいる」と言っていた方もいました。2 ページのグラフを見ていただくとわかりやすいのですが、棒グラフの緑や黄緑色のこれから小学生になるという人数が意外に減っていく感じのグラフにはなっていないという、思っていたよりいるんだなと皆さんの中からお話を聞くことができました。

こういったアンケートを受けて、今後子どもの居場所をどういうふうに作っていくかだったり、どこで誰がやっていくかみたいなことは今後検討していこうと思います。そのために、あつクラに入っているメンバー以外にも、ちょっと子どものことに詳しい方だったり、アドバイスいただくとか、一緒にあつクラ大作戦に入っていたきながらやっていってはどうかなという流れに前回なっております。なので、皆様の中でもこういうこともいいのではないかと、何かありましたら是非ご協力いただけたらなと思っています。

全体を通して質問など何かあればいただきたいと思います。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。とっても上手にまとめるなと思うんですけども、やっぱり地域とクロスになってないというか、例えばどこの地域の子がどこに公園が欲しいのかということです。もうちょっとクロスになったらわかりやすいかなって思いました。基本的には厚田も望来も聚富にも 1 か所ずつ公園があったらいいだろうなとは思いますが、はい、でも素晴らしいアンケートでしたので、是非これを活かして今後に進めていただきたいと思います、ありがとうございます。その他ご意見ありますでしょうか。

【 大内委員 】

花川の方ではあるかと思うんですが、学校を使うということはできないんでしょうかね。放課後皆で遊んでバ

スの時間を遅くして帰る案というのは、簡単にはいかないと思うんですが無理なんでしょうか。

【 八木沼支援員 】

確かにそれができたら一番いいのかなと思うんですが。

【 渡邊会長 】

校長先生がおりますが、実際その辺はどうなんでしょう。

【 立崎委員 】

安全面などやはり気をつけないといけないですし、そういう条件の整備がされることが必要なのかなとは思いますが。市の教育委員会とも色々相談したりしないといけないと思いますので、ここで即答はちょっとできないかなとは思いますが。

【 渡邊会長 】

そうですね、即答ができるものではないですね。あつクラの方でも何か「アトリエ」なるものを考えているようですけれども、八木沼さんから何かご説明できることがありますか。

【 八木沼支援員 】

今回のアンケートに協力いただいている学生の堀田さんの紹介をしたのですが、彼女の案として、例えば厚田支所の2階の会議室だったりを活用して、そこを「あつたアトリエ」という名前にして、ボランティアスタッフがいて子どもたちが来て、そこで子どもたちが何か好きなことをしたり、創作活動みたいなことができるような場所にしたらどうだろうかというような一つの提案がその会議でありました。

例えば、地域の方、先ほどの習字の話じゃないんですが、こういうことが得意だよという大人がいいたら、その方をマスターと呼んで、そのマスターからクリエイターである子どもたちが技術を習って、それをまた自分たちの活動に活かしていくようなイメージで、彼女は「あつたアトリエ」という名前をつけたのですが、そういうことができたかどうかという話もありました。

その他、そういう子どもの居場所ってなったときに、実はアンケートを取ったお母さんたちの中にも、「私も何曜日なら空いているから一緒に何かできるんで、声かけてください」と言っていた方も数名おりましたので、具体的にはその方たちにもちょっと私の方から声をかけさせていただいて、何ができるのかを、学生の堀田さんも含めながら、今後どうしようかなと、どう作戦を練っていこうかなと感じております。

【 渡邊会長 】

小学校1年に上がった途端に、今まで保育園だったら夕方5時ぐらいまでいられたんだけど、1年生になったら急に午前中で終わったりとかね、そのギャップを埋める部分っていうのはね、何か皆で考えてもいいのかなと思いますので、また今後よろしくお願いします。その他何かありますでしょうか。

【 小山委員 】

「遊び場がない、遊具がない」というのは、昔ですと学校に必ず色々な遊ぶ物がありました。今現状残っている学校も閉校になって遊具があるのか取り壊されているのか確認できていないのですが、厚田学園には、鉄棒など遊具があるのでしょうか、見に行ったことはないのですが。

【立崎委員】

グラウンドの奥の方に鉄棒があります。

【小山委員】

学校に残るっていうのは、やっぱりスクールバスの関係もありますから、遊んで帰るっていうのは送迎の関係で無理なんではなかね。やっぱりそういう場所を作ってあげたいなって気持ちはありますけれども、色んなこと考えると、難しいのかなとも思いますよね。古い学校の遊具もちょっと整備すれば使えるのかなとも思うんですがね。

それと、3ページが一番下の「危険」というところがありますが、「別狩の街灯が少ないため子どもが心配」ってあります。これはやはり、なるべくたくさん街灯をつけてもらえるように市にお願いするっていうことはできないのでしょうかね。それから、「トイレのついてないバス停に電気をつけてください」ということで、2箇所ぐらいつけさせていただいたのですが、やはり高校生が、今の時期は明るいんですが、冬になると行く時も暗いし、帰りも真っ暗ということで、やはり危険性がありますので、私の方では2箇所ぐらい電気をつけさせてもらいました。ですから、街灯はすごい必要じゃないかなって思っています。吹雪の中でもそれを目当てにして帰るとかね、こういうのは絶対必要じゃないかなって思ってるんですけども、市の方をお願いして増やしてもらうとか、そういうことはできないのかなって。これは親が言ってるのか、子どもが言ってることなのか確認は取れてないんですけどね。

【渡邊会長】

別狩中央町内会長の河合さんから一言いいですか。

【河合委員】

この街灯の話ですが、国道に街灯がないんですよ。ガソリンスタンドから札幌に向かって左側にはあるんですが、右側にはないんですよ。市に開発局につけてくれるようお願いしたけれど「無理」だということでした。「道の駅が折角できて、厚田のまちの入口が暗かったら何もならないからつけてほしい」って言ってもダメで、国道だから市もダメだし、そういう経緯があって今のところつけていない状況です。

【渡邊会長】

なかなか難しいところもあるようですね。厚田学園へ行く坂道も暗いなど僕なんか思うんですが、色んなところにもっと街灯がつけられたらいいんでしょうけど。その他ありますでしょうか。

7. その他

【事務局（渡部課長）】

私の方から少しだけ補足をさせていただきたいと思います。

今回、子どもアンケートを取りました結果を報告させていただきました。集落支援員の方から、今後の取り組みについてご説明させていただきましたが、これから地域の方にお声かけしながら、色々と検討を進めていく流れにはなっております。その中でも、今回居場所作りということが大きな取り組みの一つになっています。それともう一つ、先に小笠原委員の方から話がありました高校生の通学に関する件、今回のアンケートでも出てきております通学助成の話もありますので、この2点をしっかりと事務局の方では掘り下げて何らかの形で進めていければなと思っているところでございます。

そのためには、地域自治区の答申の方をまずはしっかり協議していただきまして、答申以降に皆様からご意見

をいただきながら、必要であれば、あつクラの方で別途高校生がいる世帯に聞き取り調査も改めて行いながら、実状をまず把握したいと考えているところです。

(1) 次回日程について

5月30日(木) 18時～ 望来コミュニティセンター

8. 閉会

19時05分 閉会

令和 6 年 5 月 17 日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会 長 渡 邊 教 円